



政府統計

報道関係者 各位

令和6年 11月 29日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 菅沼 伸至

室長補佐 村田 美智恵

(担 当) 成年者縦断統計係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7592)

(直通電話) 03-3595-2322

## 第12回「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」 の結果を公表します

～平成24年から令和5年まで、同一の成年世代の男女を追跡調査～

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」の第12回(令和5年)の結果を取りまとめましたので公表します。

21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)は、平成24年10月末に20～29歳であった全国の男女(及びその配偶者)に対して、結婚の状況、出生の状況、就業の状況などを継続的に調査し、先に実施した21世紀成年者縦断調査(平成14年成年者)との比較対照等を行うことにより、少子化対策など行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第12回調査では、平成24年度の第1回調査から協力が得られた4,754人を集計対象としており、調査対象者の年齢は31～40歳となっています。

### 【調査結果のポイント】

#### 1 第1回調査時に独身であった者の職業観

第1回調査時に独身であった者の職業観をみると、女ではこの11年間に「結婚していない」者に比べ「結婚した・出生あり」の者は、「家計に余裕をもつため」が高い(4頁 図1)

#### 2 夫の平日の家事・育児時間と出産後の妻の就業状況

この11年間に子どもが生まれた同居夫婦(出産前に妻に仕事あり)では、夫の平日の家事・育児時間が長いほど、出産後の妻の「同一就業継続」の割合が高い傾向(6頁 図3)

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。